

## 印西大師 第25番 船尾・東光院

1 名称 (No.025)〔手引鏡：東光院〕〔資料館：東光院〕〔行程表：東光院〕

2 場所 印西市船尾622 東光院

船尾観音堂から道程約920m、道路に歩道のない区間があるので車に注意！

GPS座標 35.780846558604026, 140.1238633162597

3 由緒 天台宗 医王山 東林寺 東光院

船尾村字向地にあり 天台宗比叡派にして医王山東林寺と称す 中本寺泉倉寺末なり 阿弥陀如来を本尊とす 由緒不詳 檀徒三百九十七人（印旛郡誌）

4 御堂 大師堂が3つあり、第25番大師堂の中

に丸彫りの御大師様が1体あり。ほかの番外の大師堂2堂にも丸彫りの御大師様が1体ずつあり。計3体あり。

5 境内 本堂、薬師堂、観音堂、銀杏・梅・楓などあり、きれいに手入れがされています。本堂の前の左側に参詣者用のトイレあり。本堂の西側は平成霊園。

6 写真 (2023.03撮影)



中央の印西大師第25番の大師堂



印西大師第25番の御大師様



3つの大師堂



右の番外大師堂



右の大師堂の中の御大師様



東光院本堂



左の番外大師堂



左の大師堂の中の御大師様



薬師堂

## 7 情報

### (1) 印西大師 第25番 東光院 御詠歌（泉倉寺本による）

法の船入るか出るか此の津寺 迷ふ我身を乗せて玉(たま)へや

四国八十八ヶ所 第25番 真言宗豊山派 宝珠山(ほうしゅざん) 真言院 津照寺(しんしょうじ)

本尊 延命地藏菩薩（高知県室戸市）写し

### (2) 天台宗 医王山 東林寺 東光院

寛和2年(986年)、恵心僧都源信（えしんそうげんしん）によって創建。本堂は寛文2年（1662年）に大修繕が行われたが、嘉永3年（1850年）に焼失。嘉永5年に再建がされたが昭和35年（1960年）台風により倒壊。現在の本堂は昭和60年（1985年）に建てられた。嘗ての本尊は恵心僧都源信作と伝えられていた薬師如来像であったが、火災にて焼失し現在は阿弥陀如来を本尊としてお祀りしている。明治6年（1873年）あたりまで船穂小学校の寺子屋として利用されていた。（現地説明板より）

### (3) 番外札所（2023.03現地調査）

3つの大師堂があることについて御住職にお伺いしたところ、檀家の有力者から奉納されたもので、近くにあった御堂が移動してきて増えたわけではないとのことでした。

### (4) 江戸時代の造立

印西町調査報告書(追録)によると、第25番の御大師様は慶応4年(1868年)の造立、番外の御大師様は嘉永4年(1851年)と文政13年(1830年)の造立で、すべて江戸時代のものである。

### (5) 左手に五鈷杵、右手に数珠

番外の左の大師堂の御大師様は、右の写真のとおり、左手に五鈷杵（心の中の煩惱を打ち砕く密教法具）、右手に念珠を持っています。通常は右手に五鈷杵、左手に念珠を持っているので、これは反対です。印西大師では、東光院と大森・長楽寺くらいではないかと思います。石像の前下の部分には御大師様の靴と水瓶が彫られることが多いのですが、この石像もそれらしきものが彫られていますので、間違っただけというより何か意図して左右逆にしたと考えられます。このことについて御住職から聞き漏らしてしまったので理由は不明です。



### (6) 武蔵型板碑

本堂には康永2年(1343年・北朝年号)の銘が刻まれた武蔵型板碑が保管されている。（印西歴史愛好会編「印西大師八十八か所」）

## 8 関連Web

○ほとけの菜園 <http://hotoke.no.coocan.jp/>

2024.04一部修正